



## 「リーダーを見殺しにしない学年」

学年主任 對馬 洋介

《体育祭》

「五月雨」「五月晴れ」があります。「五月雨(さみだれ)」は旧暦の5月(現在の6月)に降る雨、つまり梅雨のことです。そして、「五月晴れ(さつきばれ)」はもともと、その「梅雨の晴れ間」の意味ですが、現在では「5月の晴れわたった空」という使い方も一般的になってきました。

さて、去る5月10日に東京体育館にて中1は初めて体育祭に参加しました。予定通り進まず、保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますと同時に、お忙しい中来場いただき、誠にありがとうございました。

理数インターの「生徒主体」の体育祭に向けての中1学年団としての取り組みは、(1)全力で取り組む(5月の月間目標)、(2)保健体育委員が中心となってクラスを盛り上げる、(3)各クラスで各競技リーダーを選出し、そのリーダーがその競技を盛り上げる、でした。

ソーラン節では中学生全員で作上げる達成感(音響トラブルをものともせず)、各競技ではまずは自分が全力を尽くし、全力でクラスや学年の仲間を応援する一体感、そして保健体育委員の事前準備や当日の仕事での貢献、と「体育祭を皆で良いものにしよう、楽しもう」という気持ちの伝わる良い一日であったと思います。

結果は次の通りでした。中学 第1位 2年B組 第2位 3年C組 第3位 3年A組

【11期生の皆さんへ】

君たちには、ここで満足して欲しくないと願っております(していると思っはていませんが)。今年はお客様としての参加でした。来年度以降はお客様やフォロワーから脱却をし、さらなる当事者意識を持ち、体育祭を盛り上げて欲しいと思います。例えば、ソーラン節ならば、ソーラン節実行委員を立ち上げ、新入生に11期生が教える、先輩に教を乞う。今年の運営に関する改善点をクラス毎にまとめる等々、たくさんあるはず。様々な声をぜひ、直接実行委員や学年教員に届けてください。

さて、クラスでの練習に関しては、どうでしたか。皆さんはクラスの保健体育委員や競技リー

ダーに最大限協力できましたか。

行事は「楽しい」が大前提です。ならば、クラス全員で練習から一つのことに真剣に集中して取り組む「楽しさ」を全員に感じて欲しいです。

仮に一人でも「面倒くさい」「疲れるよ」といった子供じみた発言をするとリーダーは孤立し始めます。リーダーを孤立させ、見殺しにする学年に私はなって欲しくありません。

大切なのは限られた時間を最大限に利用したい、たくさん練習したい、団結したい等リーダーの気持ちを察する「優しさ」を持つことです。そして、皆さんが支え、行動、考動することです。

行事はクラス、学年、学校をまとめるための手段の一つに過ぎません。次のリーダーは君かもしれません。行事が終わるたびに、皆で振り返り、さらなる成長につなげていきましょう。「五月晴れ」の意味が変わってきたように、君たちが学校を変えるのです。



中学生全員による「ソーラン節」↑

《中間試験について》

5月19日(金)、20日(土)、22日(月)と初めての定期試験が実施されます。この一ヶ月強で学習したことの定着度を計ります。教科は国語(国語総合と国文法)数学(代数、幾何)、英語総合(筆記とリスニングと書き取り)、理科(化学生物、物理地学)、社会(地理)です。なお、試験範囲は各教科係が教科担当者を訪ね、まとめたものを学年の廊下に掲示してあります。

試験そのものは個人の取り組みではありますが、学年、クラスとして試験に向けての雰囲気作りも大切だと考えます。そのため、試験一週間前の昼休みは全員が静かにクラスで勉強する「昼学習」、放課後は試験中も含めて、中1、中2合同の「自習教室」を用意し、学習の場を提供しています。先輩の背中を見て、共に勉強して欲しいと思います。なお、試験期間中の自習教室の利用には昼食が必要となります(もちろん、家庭で勉強しても問題ありません)。23日(火)は採点日のため、生徒は自宅学習日となります。

結果はもちろん大切ですが、今年一年で身につけて欲しいのは、(1)学習習慣、(2)学習計画、(3)その実行記録です。理数インターでは、スタディーレポートという手帳を配布しています。毎週担任にも提出しております。ぜひ一度手に取り、ご覧ください。



試験範囲:生徒は自分で写します↑

【保護者の皆様へのお願い】

試験後には、(1)スタディーレポートの試験記録欄に保護者からのコメントの記入、(2)学校から配布される「成績個人表」へのコメントと捺印をしたうえで、各担任まで提出ください。